

南野佳英 (2007 年卒)

留学施設 Department of Surgery, Schultz Diabetes Institute, University of Minnesota

留学期間 2018 年 5 月～2021 年 3 月

私は世界で最も膵島移植を行っている施設の一つであるミネソタ大学 (PI:ヘリング教授) を留学先を選びました。こちらではブタ膵島をヒトへ移植する「異種移植」を免疫抑制剤を用いずに実現するという高い目標に向けて、世界中から集まった研究者が日夜研究を行っています。私は、最適なドナーブタの開発に向けた遺伝子解析のほか、移植後の拒絶に関与する未知の抗原の解明、移植後に異種の膵島が生着する病理学的な仕組みなどについて研究を行いました。また、臨床医としてのバックグラウンドを活かして、膵島移植術前後の適切な患者評価の方法についても研究しました。私生活では、家族で 4200 km を走破してイエローストーン国立公園を見学するなど、公私共に一生忘れることのできない貴重な経験になりました。米国で得た経験をもとに、帰国後も継続して研究を続けています。



SDI のメンバーでディナークルーズ



移植の途中にメンバーと

ヘリング教授 (中央) と国際学会へ (IPITA, Lyon, France)